

バザーで協働・つながりづくり「ひばり春のバザー」

5月18日(土)～19日(日) 太陽の広場

主催：信貴福祉会後援会



○ 約30年続く活動

これまで買物公園(山城町一丁目第1公園)や光町公園と規模が大きくなるにつれて場所を変えて開催し、太陽の広場では10年以上に渡って開催。毎年、春と秋にバザーを開催。

○ 作業所施設・町会・市民活動団体も出展

「地域での障がい者の理解を広げる」、「社会福祉法人信貴福祉会の事業を支援する」ことを目的に、子ども・障がい児の支援と福祉の発展を願って、もっと多くの方々に参加・協働の輪を広げようと、多様な出展になっている。多様な出展と地域に根差した活動が公益活動として発展している。秋のバザーに参加しよう!

▲ 学生・市民活動団体の参加

写真左は、常盤短期大学の学生が出展団体と一緒にスタッフとして参加。写真左下は、市民活動団体として「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」が出展。また、センター「つどい」登録団体である「はな☆はな」も出展。



▲開催終了間際まで、来場者が途絶えることなく、盛況!



▲太陽の広場での開催風景。



※ 4月20日(土)開催の「八尾市市民活動支援基金」報告会は「つどいブログ」で紹介しました!

歴史民俗シリーズ 八尾 なんやかや 17 「高安山のホトトギス」

Y 「六月です。うぐいの花のおう垣根に、ほくとときぐす、早も来鳴きて、今の子どもでも、この歌は歌えるでしょうね。高安山でホトトギス鳴くのん、聴きはったことありますか。」

O 「へえ、ホトトギス鳴きますのん。前に登った時、ウグイスの声は聴きましたけど、ホトトギスは知りませんね。」

Y 「テッペンカケタカと耳を劈つんざくような大っきい声で鳴きますよ、でも姿は、めったに見ることはないですねえ。」

O 「ホトトギスの寺といえは東大阪市東豊浦町、暗峠くらがらとつげ北方の慈光寺(じこうじ)が有名ですね。」

Y 「そうです。一八〇一年成立の『河内名所図会(かわちめいしよずえ)』には、当山は郭公(ほととぎす)の名所とて、と書いてあります。暗峠から尾根づたいに南へ、鳴川なるかわ峠、十三峠、高安山へとホトトギスが飛んでくるようです。そのようすを詠(よんだ歌)・句を紹介しますと、

◇高安にうつりにけりな時鳥(ほととぎす)
生駒の山を越えて かたららふ 公朝『夫木(ふぼく)集』

◇里の名の 高安く鳴け郭公 梵達『河内鑑かがみ名所記』

◇何か われに 知らすとならし ほととぎす
枕(まくら)にちかく来(き)鳴(な)くを見れば 大石順教尼

◇心ある 都の人に聞かせばや 高安山に鳴くほととぎす
大石順教尼(おおいしじゆんききょうに)

O 「大石順教尼って、情婦に狂った養父が家族を斬った事件、大阪市西区の《堀江六人斬ぎ(し)》で両腕を切られた人ですね。」

Y 「はい、明治三十八年、この事件で唯一人生き残り当時は芸妓で妻吉(つしまきぢ)、本名(よね)といひ、十七歳(とせ)つたそうです。」

O 「その妻吉さんが八尾市に住んでおられたのですか。」

Y 「昭和五年から昭和十九年まで、山畑の観音堂(今はない)で仏門に入り修行(しゆぎん)なさいました。詳しいことを知りたい人は調べてください。では、また来月。」

※『夫木集』1310年頃成立、藤原長清撰(せん)
※『河内鑑名所記』1679年成立、三田浄久編纂